

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号	
■募集分野	スタートアップ・エコシステム構築支援	■募集人数（人）	1
■学位	修士		
■担当部署名	経済開発部 民間セクター開発グループ		
■募集の背景			
<p>現代社会は複合的危機に直面しており、貧困、食料安全保障、保健・衛生、気候変動等の課題が山積している。例えば、新型コロナウイルスの遺伝子データ入手から42日間という驚異的な速さでmRNAワクチンを生み出したのは、スタートアップのモデルナであったように、現代社会が直面する社会課題解決にはイノベーションを創出するスタートアップが育成され、ビジネスを拡大していくためのエコシステム構築が重要。JICAは、途上国の社会課題解決に挑戦する起業家を育成するためのエコシステム形成支援を目的とした「Project NINJA (Next Innovation with Japan)」を、2020年1月より開始した。他ドナーもスタートアップ支援及びイノベーション創出のための様々な事業を開始しているが、途上国におけるスタートアップ・エコシステム構築を支援するための途上国政府及び関係機関の能力強化支援といった観点での取組は緒に就いたばかりであり、確固たる援助手法が確立されている状況ではない。</p>			
■本事業を通じて育成が期待される人材像			
<p>本ポストでは、国際協力事業経験者が本事業を通じて起業・イノベーション分野の修士号を取得することで、政府機関・投資関係者（ベンチャーキャピタル等）・教育機関・金融機関等により構成されるスタートアップ・エコシステムの構築・発展に係る学術的・実務的な研究等を理解し、途上国政府をカウンターパートとして、他ドナー等関係機関との協調を図り、JICAのスタートアップ・エコシステムアドバイザー専門家として、スタートアップ・エコシステム構築支援業務に従事する人材が育成されることが期待されています。なお、研究テーマの設定に際しては、地域開発政策や産業政策等、日本の強みを最大限に活かした援助手法の確立が課題となっている点を加味することが重要です。</p>			
■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）			
<ul style="list-style-type: none"> ◆Utrecht University School of Economics “Business Development and Entrepreneurship” (Erik Stam;Professor) ◆London School of Economics “Department of Management” (Acs, Zoltan J;Professor Emeritus of Schar School of Policy and Government at George Mason University) ◆University of Edinburgh Business School “Masters in Entrepreneurship and Innovation” (Ben Spigel;Senior Lecturer) <p>※大学や研究コース、教員の例となりますので、上記に限るものではありません。また、英語圏の大学院で無くとも構いません。</p>			
■参考情報			
<p>JICAのスタートアップ・エコシステム支援分野の取組みについては以下もご参照ください。 https://www.jica.go.jp/activities/issues/private_sec/project_ninja/index.html</p>			
■研修終了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間			
<p>学位取得後に約1年間JICA本部に勤務した後、専門家等として1年以上派遣されることを想定 * 面接時及び合格発表時、研修中等に本人と適宜相談の上、業務内容は変更の場合がございます。</p>			
■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）			
必須	学士号		
必須	当該分野（民間セクター開発に係る国際協力や本邦スタートアップ支援を含む投資等の実務）に関連する5年以上の実務経験を有すること。		
望ましい	JICA専門家/企画調査員として1年以上の派遣経験もしくは同等の海外経験を有すること		
■備考・留意点			